

令和7年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会

分科会（第4回）

会議の概要

○ 会議名

令和7年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第4回）

○ 開催日 令和8年2月17日（火曜日）

○ 出席状況

東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、練馬区、江戸川区、国土交通省

○ 議事の要旨

* 国土交通省より、騒音測定結果や部品欠落報告等についての説明

【主な意見及び国の回答等】

・北風運用時の離陸便で想定経路から逸れている便があったとのことだが、その理由についてもう少し詳しく説明いただきたい。

⇒航空機の速度が速い場合、旋回半径が大きくなる傾向があることが要因と思われる。国際線増加に伴う影響についても、引き続き注視していく。

・固定化回避検討会では、海上ルートの実現に向けた今後の方向性が示されたところではあるが、これまで求めてきた具体的な方策は示されなかったことを踏まえ、区では直ちに今回の結果が看過できないこと、市街地上空を通過しない海上ルートの実現に向けた検討を加速化し、区民負担軽減につながる具体的な方策の提示と、その実施が早期に行われることを求める要望書を提出した。国には、要望書の趣旨を踏まえた対応をお願いしたい。⇒今回の固定化回避検討会では、今後の方向性の中で、海上ルートの実現やさらなる騒音負担軽減について、今後の取組を具体的にお示ししている。海上ルートの実現については、諸外国で実施されている研究、特に、地域固有の気象条件を活用した曲線半径小回り化に関する研究について、国内外の研究機関等と連携し、羽田空港への適用可能性を検討していきたい。RNP方式に対応可能な機材の導入についても、外国事業者も含めたエアラインに働きかけ導入率を上げていきたい。また、低騒音機材の導入促進のため、着陸料の騒音料金見直しも含め、更なるインセンティブが働くような仕組みの検討を進めるとともに、JAXA等が開発を進める騒音低減装置の実装に向けた取り組みを推進していきたい。これらの具体的な取り組みを着実に進めることによって、地域の皆様の負担軽減にしっかり取り組んでいく。

以上